

岸和田東ロータリークラブ

新世代奉仕委員会委員長 坂東桂子

次世代フォーラム「未来を拓く高校生会議」を開催

平成 17 年 1 月 30 日(月)午後、国際ロータリークラブ 100 周年記念事業の一つとして次世代フォーラム「未来を拓く高校生会議」を開催した。場所は岸和田市の中心にある、岸和田市立産業会館。約 220 名の参加者があり、立ち見が出るほどであった。岸和田テレビから 2 時間番組として 2 月末と 3 月初旬の 2 回放映される。

フォーラムの内容は紙野陽子岸和田市立図書館長の基調講演「地域文化の橋渡しとしての図書館」と岸和田市内の全高校(5 校)の代表生徒によるパネルディスカッションである。パネルディスカッションのテーマは「つなぎ、育てたい身近な文化」、コーディネーターは当クラブ会員で環境造形家、岸和田市教育委員としても活躍の夏原晃子会員が担当した。

講師については今後も地域とつながり、ともに歩む人ということで、岸和田在住の紙野市立図書館長に依頼したが、日本の昔話の中にこめられた日本人の心について話された後図書館の利用状況や図書館の役割についてスライドを使い判りやすく話された。パネルディスカッションでは 5 人の高校生がおのおの「おふくろの味と心がふれあうキャンプファイヤー」「日本の伝統行事」「中国でのホームステイの経験から」「泉州の伝統技術」「高校文化祭」について意見発表を行い交流をした。

各高校には非常に熱心な、また心温かい支援をいただいた。パネリストの選出だけでなく、パネリストと一緒に考える生徒たちのグループ作り、それぞれの学校で行われた文化についての学習会、支援グループを含めた 2 回のパネリスト会議では、担当の先生方には休日にもかかわらずお世話をいただいた。過程を大切にしたい取り組みをと考えていたが、高校生たちは他高校生とのふれあい、意見交流を喜び、各高校のテーマ 選びもスムーズにいった。その討論風景はとてもほほえましく、高校生の可能性にふれることができ実行委員の醍醐味を味わった。

このフォーラムは私達大人が若者の声に一生懸命耳を傾け、大人もともに変わり、ともによりよい地域づくりを行おうという意思表示でもあった。フォーラムを通じ同世代は勿論、世代を超えた交流がなされ、私達の今のあり方、またこれからのあり方を語り合える仲間が広がったことをうれしく思った。